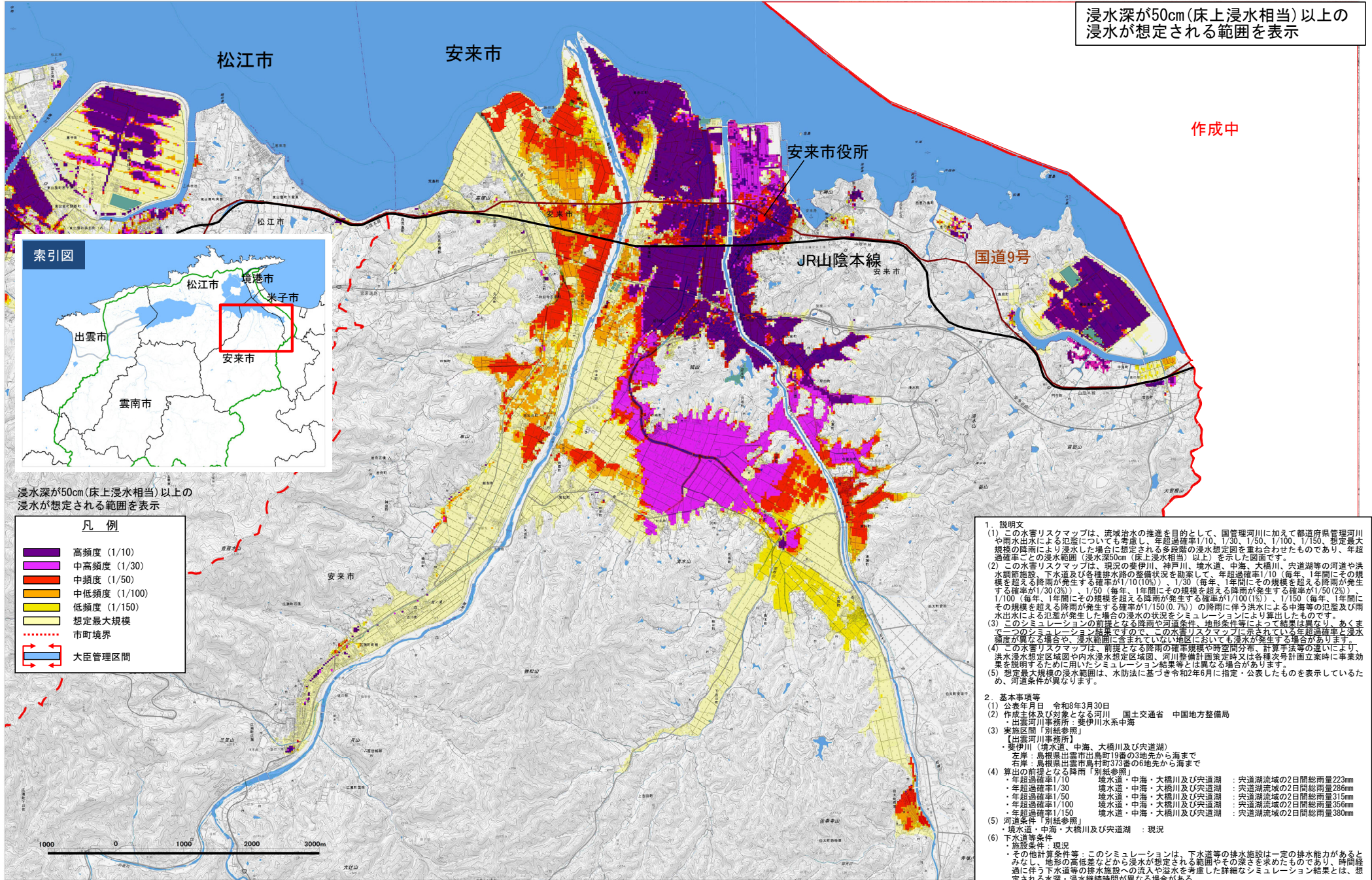


斐伊川水系 内外水統合型の水害リスクマップ 安来市

浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



作成中



浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

凡例

	高頻度 (1/10)
	中高頻度 (1/30)
	中頻度 (1/50)
	中低頻度 (1/100)
	低頻度 (1/150)
	想定最大規模
	市町境界
	大臣管理区間

1. 説明文
 - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。
 - (2) この水害リスクマップは、現況の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/10(10%)、1/30(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30(3%)、1/50(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/50(2%)、1/100(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/100(1%)、1/150(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水による中海等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
 - (4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画策定時又は各種次号計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。
 - (5) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
 - (1) 公表年月日 令和8年3月30日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所 斐伊川水系中海
 - (3) 実施区間【別紙参照】
 - 【出雲河川事務所】
 - ・斐伊川(境水道、中海、大橋川及び宍道湖)
 - 左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで
 - 右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
 - 算出の町となる降雨【別紙参照】
 - ・年超過確率1/10 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量223mm
 - ・年超過確率1/30 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量286mm
 - ・年超過確率1/50 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量315mm
 - ・年超過確率1/100 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量356mm
 - ・年超過確率1/150 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量380mm
 - 河道条件【別紙参照】
 - ・境水道・中海・大橋川及び宍道湖：現況
 - (4) 下水道等条件
 - ・施設等：現況
 - その他計算条件等：このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果は、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。
 - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。一排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。
 - (5) 関係市町村 安来市
 - (6) その他計算条件等
 - ・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。
 - ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。